

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	産業振興課長 山戸 貴喜	
市民-26	実施事業	技能振興事業	自治事務	主管課 産業振興課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	技能振興の充実

1 事業の目的

対象	技能職者
意図	技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。
効果	技能振興を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	378	当初予算(千円)	750	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	378	一般財源	750	
	人員配置数	0.6	人員配置数	0.8	
事業経費運営	人件費(千円)	4,617	人件費(千円)	6,158	
	総事業費(千円)	4,995	総事業費(千円)	6,908	
	市民1人当りの経費(円)	28	市民1人当りの経費(円)	39	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある			
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない		
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直し		
				事業へ統合	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	技能振興は継続的に実施していく長期的な事業であり、現状の予算のなかで創意工夫を重ねて実施していく。		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	技能職が担う仕事は日常の市民生活において必要不可欠なものであり、また専門的な知識や技能を必要とするものであるため、後進の育成は非常に大切なものである。今後とも、技能祭等を通じて広く市民の方々に技能の継承の必要性を知ってもらおう努めていかなければならない。				

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・若年技能者の減少は長期的な課題であり、継続的な取組が必要であるとともに、後継者の育成についても急務の課題である。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	・技能祭の実施により、多くの市民が技能にふれあう機会を設けて、技能振興を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・若年技能者の減少は長期的な課題であり、後継者の育成が図られるような取組が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	技能者表彰の実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	×	○	×

比較事項	技能職団体の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	×	×	×	×	×	×	×

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	技能者表彰の制度はほとんどの市が整備しているが、団体として組織化されている市は少ない状況である。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	技能者表彰受賞者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
優秀な技能者の増加は市民生活の向上に寄与するため。	目標値	32	32	32	32	32		32		
	実績値	22	16	16						
	達成率	68.8%	50.0%	50.0%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	技能者の減少は長期的な課題であり、継続的な取組が必要であるため指標の推移を注視する。
-----------------------	--